

## ◆ VE全国大会『VE実践論文』応募原稿執筆ガイド ◆

VE全国大会『VE実践論文』の応募原稿は、このガイドや別添の原稿執筆要領に従ってご執筆ください。**赤字の部分は、特にご注意いただきたい点です。**

1. 原稿は、A4判の白紙に、横書き・**白黒(図表はカラー可)**でご執筆ください  
(MS-WORDでフォントは明朝体、フォントサイズは10.5)。原稿の枚数は、図表・写真を含めて**10頁以上12頁以内**(1枚につき横40字×縦40行)とします。
2. 図表・写真は鮮明なものを見やすい大きさに本文中の適当な位置に挿入し、**文字や数字等がはっきりと読めるように**してください。図表・写真には図表1・写真1といった通し番号を付け、何を示している図表・写真かがわかるように**タイトルを付記**してください。
3. 原稿執筆の手順は次の通りです。
  - (1) 1枚目の最初に、論文の題名(日本語・英語)と執筆者全員の社名、所属・役職名、氏名、VE資格名を記載してください。その後に「論文の要旨(目安としては横40字×縦10行程度)」と情報検索に役立つ「キーワード(日本語で5語くらい)」を記述してください。
  - (2) キーワードの次に、本文を続けてください。読者にとって理解しやすい論文となるよう、次の点を心掛けていただきたいと思います。

- ① **論旨を明確にする。**
- ② **内容を論理的に構成する。**
- ③ **論述内容に整合性をもたせる。**
- ④ **用語はわかりやすく定義して使用する。同じ意味なら統一、別の意味なら区別を明確にする。業界用語や社内用語は使わない。**
- ⑤ **考え方だけではなく、その根拠や実施方法、背景等も具体的に述べる。考え方については従来との違いを強調し、その有効性等を事例で具体的に示す。**
- ⑥ **図表をどのように見れば良いのか又は図表と本文の関わり等がわかるよう、図表についても簡潔な説明をつける。**
- ⑦ **最後に結論を記述する。**

**本文中での一般的な(既知の)説明は、最小限**にとどめてください。

- (3) **執筆者の社名等は題名や本文、図表に記載せず**、必要な時は「当社」や「A社」等といった表現を使用してください。**執筆者の特定が可能な写真の掲載もしないよう**、お願いします。公平な審査が行えるよう、審査委員には原稿1枚目の会社名及び所属・役職名、氏名を消した原稿を送っています。

(4) VE実践論文の評価ポイントは、以下の通りとなります。

### ①論文としての形式

- ・記述内容に誤りやあいまい性がないか。
- ・要旨が明確に記述されているか。
- ・論旨の展開(論文としての起承転結)が明確であるか。
- ・図表、文体が簡潔でわかりやすいか。

### ②VE実践論文としての説得性・内容の有用性

- ・実践論文としての成果(主張)が文中に明確に述べられているか。
- ・文中で示された成果が(当該)産業界の社会的課題に込えているか。
- ・文中で示された成果は当該分野・製品以外にも波及効果が望めるか。
- ・VE・並びに関連手法の実務上の改良・改善の工夫がみられるか。

### ③VE実践論文としての適性度

- ・VEの機能分析の視点、機能本位の創造思考、代替案の変更点・特徴や価値保証・改善効果、VE教育・管理などについて適切に言及されているか、など。

主に上記評価項目により総合的に審査いたします。

(5) VE実践論文の留意点は、以下の通りとなります。

### ①実践した内容を丁寧に説明していること。

### ②実践的な裏付けに基づき考察が述べられていること。

### ③根拠不十分な仮説のみで自己PR型論文を展開しないこと。

(6) 原稿が完成したら、「意味が不明確なところはないか」「誤字・脱字はないか」「表記は統一されているか」等を確認してください。

(7) 上記(6)の確認が終わったら **右下の隅にページ番号**を付け、**4月18日(金)9時まで**に弊会事務局の担当者へ届くよう、原稿を電子メールか郵便でお送りください。

4. 図表・写真を含め原稿は一切お返しできませんので、提出後に必要となる可能性がありそうな場合は、事前にコピーをとっておいてください。
5. 原稿の差し替えは4月15日の9時までなら可能です。それ以降は原則できません。ただし、審査の結果によっては、弊会『論文審査委員会』から加筆・修正を要請することがあります。
6. 乱雑な原稿や、本文又は **図表が不鮮明で文字や数字等が読めない原稿**、所定の枚数に足りない又は所定の枚数を超えている原稿は、審査の対象外になることがあります。
7. **このガイドや別添の執筆要領に準拠していない原稿**も、**上記の6と同じ扱い**になることがあります。執筆要領も必ず参考にご覧ください。
8. 他の大会や、学会誌等で発表済みの論文で応募の場合は、本文や図表に加筆や修正をして内容を充実・発展させてください。**本文や図表がその既発表論文と全くあるいは殆ど同じ場合は、上記の6と同じ扱い**になることがあります。

以上